



My Real Time Spread Sheet++

ユーザーズマニュアル

目次

はじめに.....	3
ソフト概要.....	3
動作確認済環境.....	4
分足関数一覧.....	5
株分足関数.....	5
先物分足関数.....	6
歩み値関数.....	7
設定.....	8
ファイル保存仕様.....	12
その他動作仕様.....	13

はじめに

My RealTime Spread Sheet++(以下 MRSS++とします。)は、楽天 RSS などの DDE サーバーに接続を行い、分足、歩み値の集計を行うソフトウェアです。

なお、本ソフトウェアは私 aokuri 個人が作成した物であり、楽天証券公式の物ではありません。

ソフト概要

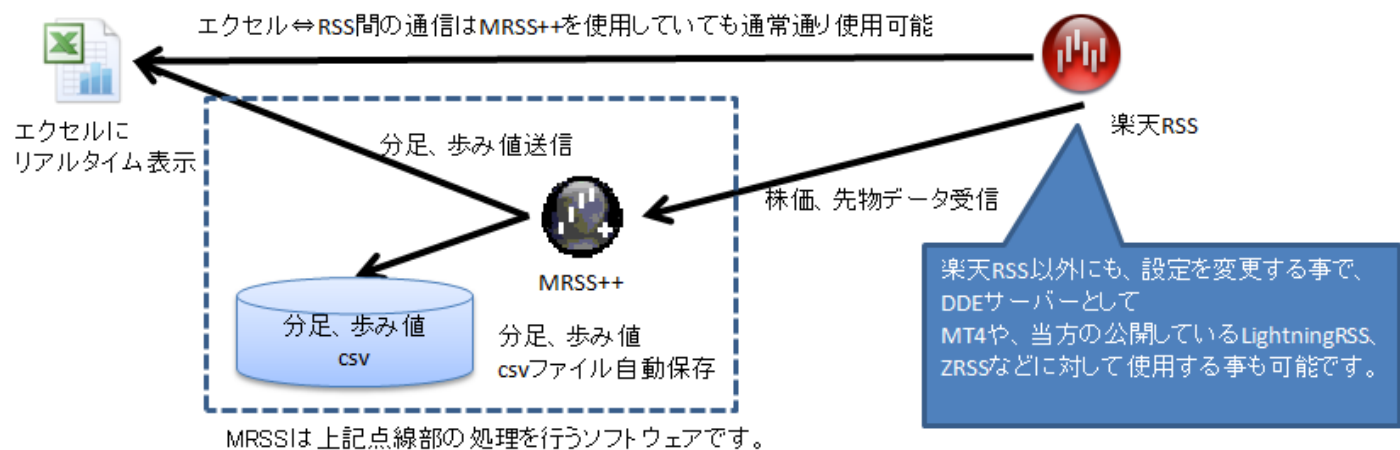


図. MRSS 動作イメージ

動作確認済環境

○動作確認環境

OS	Windows10 64bit
CPU	Core2 Duo 1.80GHz 以上
メモリ	1GB 以上 1 銘柄あたり約 160kbyte(ただし設定により異なります。)
接続先 DDE サーバー	ホットリンクに対応している事 テキスト形式(CF_TEXT)に対応している事 動作確認済 DDE サーバー ・楽天 RSS Version 2.00 ・Rakuten MetaTrader4 Version:4.00 Build 1090 ・LightningRSS ・ZRSS
接続元 DDE クライアントソフト	ホットリンクに対応している事 テキスト形式(CF_TEXT)に対応している事 動作確認済 DDE クライアント ・Excel2007
インターネット回線	下り 30Mbps

分足関数一覧

書式：=MRSS|トピック名!アイテム名

トピック名は、DDE サーバーに接続する際のトピック名と同じとなります。

(楽天 RSS の場合、N225.FUT01.0S や、8411.t など)

株式分足関数

関数書式はデフォルト設定では以下の通りとなります。

設定の項で説明する ini ファイルの [timerdata01] セクションを設定変更する事で、分足間隔やデータの並び順の設定が可能です。

項目	MRSS 関数	表示例	説明
開始時刻	=MRSS 8411.t!分足.開始時刻.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.開始時刻.65	15:25:00 ～ 9:00:00	足の開始時刻を表示します。
終了時刻	=MRSS 8411.t!分足.終了時刻.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.終了時刻.65	15:29:59 ～ 9:04:59	足の終了時刻を表示します。
出来高	=MRSS 8411.t!分足.出来高.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.出来高.65	600	分足時間内の、出来高を表示します。
始値	=MRSS 8411.t!分足.始値.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.始値.65	200.8	分足時間内の、始値を表示します。
高値	=MRSS 8411.t!分足.高値.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.高値.65	201	分足時間内の、高値を表示します。
安値	=MRSS 8411.t!分足.安値.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.安値.65	194.4	分足時間内の、安値を表示します。
終値	=MRSS 8411.t!分足.終値.0 ～ =MRSS 8411.t!分足.終値.65	199.8	分足時間内の、終値を表示します。

具体例は「Sample.xls」を参照ください。

先物分足関数

アイテム名含めた関数書式は、デフォルト設定では以下の通りとなります。

設定の項で説明する ini ファイルの[timerdata02] セクションを設定変更する事で、分足間隔やデータの並び順の設定が可能です。

項目	MRSS 関数	表示例	説明
開始時刻	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.開始時刻.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.開始時刻.233	5:25:00 ~ 8:45:00	足の開始時刻を表示します。
終了時刻	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.終了時刻.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.終了時刻.233	5:29:59 ~ 8:49:59	足の終了時刻を表示します。
出来高	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.出来高.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.出来高.233	8	分足時間内の、出来高を表示します。
始値	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.始値.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.始値.233	22190	分足時間内の、始値を表示します。
高値	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.高値.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.高値.233	22200	分足時間内の、高値を表示します。
安値	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.安値.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.安値.233	22170	分足時間内の、安値を表示します。
終値	=MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.終値.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!分足_先物.終値.233	22180	分足時間内の、終値を表示します。

具体例は「Sample.xls」を参照ください

歩み値関数

関数書式は、デフォルト設定では以下の通りとなります。

後述する ini ファイルの[shiftdata01]セクションを設定変更する事で、収集するデータの種類や表示件数を設定する事が可能です。

項目	MRSS 関数	表示例	説明
更新日時	=MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.更新時刻.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.更新時刻.29	5:29:59	値が更新された際の PC の時刻を表示します。
時刻	=MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.現在値時刻.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.現在値時刻.29	5:29	DDE サーバー(楽天 RSS)から配信される”現在値時刻”を表示します。
現在値	=MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.現在値.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.現在値.29	22560	DDE サーバー(楽天 RSS)から配信される”現在値”を表示します。
出来高	=MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.出来高.0 ~ =MRSS N225.FUT01.0S!歩み値.出来高.29	15615	DDE サーバー(楽天 RSS)から配信される”出来高”を表示します。

具体例は「Sample.xls」を参照ください。

設定

本ソフトは ini ファイルを編集する事で、MT4 で使用するなど、柔軟な使用が可能です。

MRSS 初回起動時に MRSS.exe と同一フォルダに MRSS.ini という設定ファイルが生成されます。

ini ファイルは txt エディタ等で開いて編集する事が可能です。なお ini ファイル編集後の動作確認はユーザー様にてご確認をお願いします。ini ファイルは、MRSS 起動時に読み込みます。ini ファイル編集後は MRSS をいったん終了(タスクトレイより MRSS アイコンで右クリック→[終了])させ、再度起動してください。

ddeserver セクション

DDE サーバーに関する設定を行うセクションです。

キー名称	初期値	説明
acceptname	MRSS	本ソフトが DDE クライアント (Excel) から接続される時の名称です。 =MRSS '9501.T' 歩み値. 現在値. 0 上記赤字部分の設定です。通常変更する必要はありません。
connectname	RSS	本ソフトが接続する DDE サーバー (RSS や MT4) の名称です。
defaultstr	(なし)	Excel に配信する際の、デフォルト値です。未設定の場合、値の取得できていない箇所は 0 が表示されます。 (0 が表示されるのはエクセル側の仕様です。) Ver1.10 以降で対応 項目の記述が無い場合、初期値にて動作します。

[shiftdata01]セクション

歩み値情報に関する設定を行うセクションです。

この設定により歩み値アイテムの設定が行われます。(下記赤字箇所)

=MRSS|トピック名!**rootname**. **subname****. 0

~

=MRSS|トピック名!**rootname**. **subname****. **datanum-1**

キー名称	初期値	説明
datasave	1	このセクションの歩み値情報を csv ファイルに保存する/しないの設定です。 0=csv に保存しません。 1=csv に保存します。
datanum	30	歩み値としてエクセルに配信する直近データの最大件数
rootname	歩み値	=MRSS N225. FUT01. 0S! 歩み値 . 更新時刻. 0 上記赤字部分の名称の設定です。任意で設定可能ですが、他の shiftdata セクション、timerdata セクションの rootname と重複した名称の設定はできません。
subname00	出来高	=MRSS N225. FUT01. 0S! 歩み値 . 出来高. 0 集計するデータの設定です。DDE サーバー(楽天 RSS 等)側の歩み値表示したいアイテム名称を設定します。 この subname00 の値がデータをシフトする基準のデータとなります。
subname01	現在値	集計するデータの設定です。DDE サーバー(楽天 RSS 等)側の存在するアイテム名称を設定します。
subname02	現在値時刻	
subname03 ~ subname15	-	任意で最大 subname15 まで設定する事が可能です。

例：ini ファイル設定と、アイテム名称の関係は以下の通りです。

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **出来高**. 0

~

datanum=30

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **出来高**. 29

rootname=**歩み値**

subname00=**出来高**

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **現在値**. 0

subname01=**現在値**

~

subname02=**現在値時刻**

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **現在値**. 29

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **現在値時刻**. 0

~

=MRSS|トピック名!**歩み値**. **現在値時刻**. 29

[timerdata01]セクション

分足情報に関する設定を行うセクションです。

この設定により分足アイテムの設定が行われます。(下記赤字箇所)

=MRSS|トピック名!**rootname.subname_o.0**~(schedule 設定した範囲の分足の数-1)

=MRSS|トピック名!**rootname.subname_h.0**~(schedule 設定した範囲の分足の数-1)

=MRSS|トピック名!**rootname.subname_l.0**~(schedule 設定した範囲の分足の数-1)

=MRSS|トピック名!**rootname.subname_c.0**~(schedule 設定した範囲の分足の数-1)

=MRSS|トピック名!**rootname.subname_v.0**~(schedule 設定した範囲の分足の数-1)

キー名称	初期値	説明
datasave	1	このセクションの分足情報を csv ファイルに保存する/しないの設定です。 0=csv に保存しません。 1=csv に保存します。
rootname	分足	=MRSS '8411.t'! 分足 . 始値. 11 上記赤字箇所の名称の設定です。任意で設定可能ですが、他の shiftdata セクション、timerdata セクションの rootname と重複した名称の設定はできません。
subname_o	始値	=MRSS '8411.t'! 分足 . 始値 . 11 上記名称の設定です。任意で設定可能です。
subname_h	高値	=MRSS '8411.t'! 分足 . 高値 . 11 上記名称の設定です。任意で設定可能です。
subname_l	安値	=MRSS '8411.t'! 分足 . 安値 . 11 上記名称の設定です。任意で設定可能です。
subname_c	終値	=MRSS '8411.t'! 分足 . 終値 . 11 上記名称の設定です。任意で設定可能です。
subname_v	出来高	=MRSS '8411.t'! 分足 . 出来高 . 11 上記名称の設定です。任意で設定可能です。
collectname	現在値	分足として集計するデータのアイテム名称です。 DDE サーバー(楽天 RSS 等)側の存在するアイテム名称を設定します。
volumename	出来高	出来高として差分データを計算するアイテム名称です。 DDE サーバー(楽天 RSS 等)側の存在するアイテム名称を設定します。 Ver1.10 以降で対応 (new) 項目の記述が無い場合、初期値にて動作します。
interval_min	5	分足を作成する間隔です。分単位で設定します。
schedule0	9:00:00, 11:30:00	分足を作成する時刻範囲の設定です。
schedule1	12:30:00, 15:30:00	分足を作成する時刻範囲の設定です。(省略も可能です)

schedule2~ schedule9	-	分足を作成する時刻範囲の設定です。 最大で、schedule9 まで追加可能です。
sortorder	0	0 に設定した場合、分足の 0 番側のデータが新しいデータになります。 1 に設定した場合、分足の 0 番側のデータが古いデータになります。(Ver1.02 以降で対応) 2 に設定した場合、分足の 0 から順に直近データになります。(Ver1.16 以降で対応) 項目の記述が無い場合、初期値にて動作します。
val_complete	1	0 に設定した場合、約定の無い足に対しての補完は行いません。 1 に設定した場合、約定の無い足を前回足で補完します。 Ver1.10 以降で対応 項目の記述が無い場合、初期値にて動作します。
volumetype	0	0 に設定した場合、配信される出来高の差分を表示します。 1 に設定した場合、配信される出来高の合計を表示します。 ※楽天 RSS のように合計値を出力する DDE サーバーの場合は、0 を設定してください。

例：ini ファイル設定と、アイテム名称の関係は以下の通りです。

```

rootname=分足           =MRSS|トピック名!分足.始値.0~65※
subname_o=始値         =MRSS|トピック名!分足.高値.0~65
subname_h=高値         =MRSS|トピック名!分足.安値.0~65
subname_h=安値         =MRSS|トピック名!分足.終値.0~65
subname_c=終値         =MRSS|トピック名!分足.出来高.0~65
subname_v=出来高
schedule0=9:00:00, 11:30:00
schedule1=12:30:00, 15:30:00
interval_min=5

```

上記の、**分足/始値/高値/安値/終値/出来高**はあくまで名称であり、楽天 RSS の何のデータにたいして、分足を生成するかは、collectname 及び、volumename で設定します。

※schedule0 の時間が 2 時間 30 分、schedule1 の時間が 3 時間の、計 5 時間 30 (330 分) となります為、interval_min の 5 分で割って、66 本となります。0 からの開始の為、0~65 となります。

[timerdata02]セクション

分足情報に関する設定を行うセクションです。

timerdata01 セクションと初期値が異なる物だけ記載しています。

キー名称	初期値	説明
rootname	分足_先物	=MRSS N225.FUT01.0S! 分足_先物 .始値.11 上記赤字箇所の名称の設定です。任意で設定可能ですが、他の shiftdata セクション、timerdata セクションの rootname と重複した名称の設定はできません。
schedule0	8:45:00, 15:15:00	分足を作成する時刻範囲の設定です。
schedule1	16:30:00, 5:30:00	分足を作成する時刻範囲の設定です。(省略も可能です)

ファイル保存仕様

CSV ファイルの保存先はデフォルトでは以下の通りです。

・歩み値

MRSS のディレクトリ¥**歩み値**¥日付別¥銘柄コード.csv

・分足

MRSS のディレクトリ¥**分足**¥日付別¥銘柄コード.csv

MRSS のディレクトリ¥**分足_先物**¥日付別¥銘柄コード.csv

上記赤字のフォルダ名称は、各 ini ファイルセクションの **rootname** と対になっています。

csv ファイルは MRSS からは書き出しのみで、読み出しはおこなっていない為、ファイルの削除やファイル名の変更を実施頂いても MRSS の動作に影響はありません。

・動作ログ・ファイル

不具合などの調査の為、以下の場所にログ・ファイルが残ります。

ファイルは削除しても MRSS の動作に影響ありません。

MRSS のディレクトリ¥log¥日付別¥mrssllog.log

その他動作仕様

○その他

- ・ エクセルから MRSS に対してトピックのリンクを行った場合、エクセルファイルを終了後も MRSS は DDE サーバーとの通信やファイル保存の動作は継続しています。そのため、エクセルファイルを開き直せば、エクセルを閉じていた間のデータも送信されます。

- ・ 配信されている分足、歩み値のデータをクリアする場合、MRSS を再起動させてください。

- ・ 内部設計上、shiftdata 及び timerdata セクションは最大で 99 セクションまで増やす事が可能です。

([timerdata03], [timerdata04]など。)ただしセクションを増やす事でメモリ使用量や、エクセルとの通信量も増加します。また全ての設定パターンでの動作検証を当方で行っている分けでは無い為、ini ファイル編集後の動作確認はユーザー様にてご確認をお願いします。

- ・ #REF!が表示される場合、MRSS が起動していません。もしくは書式のエラーです。

- ・ #N/A が表示される場合、MRSS とエクセル間で通信が出来ていません。もしくは書式のエラーです。

#N/A および#REF!の表示はエクセル側の仕様です。